

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【公開番号】特開2016-178226(P2016-178226A)
 【公開日】平成28年10月6日(2016.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報2016-058
 【出願番号】特願2015-58069(P2015-58069)
 【国際特許分類】

H 0 5 K 3/32 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 K 3/32 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月29日(2018.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

屈曲可能なフレキシブル基板と、
 前記フレキシブル基板上の電極と対向するパンプを有する電子部品と、
 前記電極と前記パンプとの間に挟持された異方性導電接着剤と、
 を備え、
 前記パンプにおいて、前記電極と電気的な接続を形成している面の屈曲方向の長さは、
 前記フレキシブル基板の屈曲直径の $1/400$ 以下である、異方性接続構造体。

【請求項 2】

前記パンプは、複数の凸部を備え、
 前記複数の凸部の各々にて、前記電極と電気的な接続を形成する、請求項 1 に記載の異方性接続構造体。

【請求項 3】

前記パンプの厚み方向の断面形状は、櫛形である、請求項 2 に記載の異方性接続構造体。

【請求項 4】

前記パンプにおいて、前記電極と電気的な接続を形成している面の屈曲方向の長さは、
 前記フレキシブル基板の屈曲直径の $1/500$ 以下である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項
 に記載の異方性接続構造体。

【請求項 5】

前記パンプは、前記電子部品に複数備えられ、それぞれ前記フレキシブル基板上の電極
 と対向する、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の異方性接続構造体。

【請求項 6】

前記フレキシブル基板および前記電子部品は、屈曲形状を保持している、請求項 1 ～ 5
 のいずれか一項に記載の異方性接続構造体。

【請求項 7】

前記パンプにおいて、前記電極と電気的な接続を形成している面の面積は、 $1000\ \mu\text{m}^2$ 以上である、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の異方性接続構造体。

【請求項 8】

前記電子部品は、厚み $100\ \mu\text{m}$ 以下である、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の異

方性接続構造体。